

さとう一夫通信

輝く寒川だより

2026年4月発行 5月号

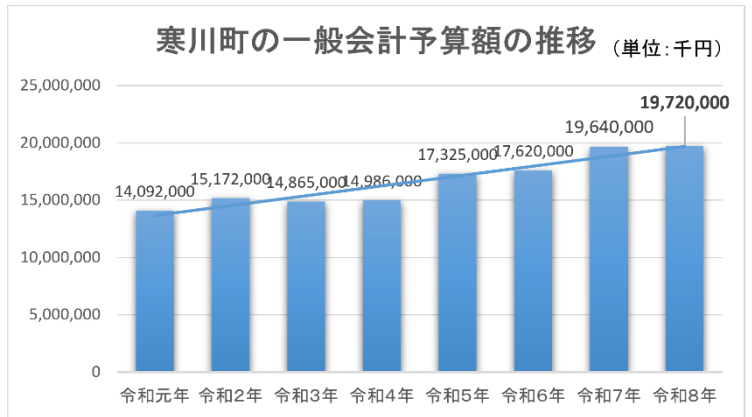
発行元
さとう一夫後援会
〒253-0105
神奈川県高座郡
寒川町岡田6-6-1
Tel:0467-75-0451
fax:0467-75-7461



寒い冬から一転して春から初夏を感じる陽気になりました。日頃より議員活動に対し多大なるご支援ご協力ご指導をいただき、深く感謝を申し上げます。

寒川町議会は3月会議が3月25日に終わり散会となりました。3月会議は令和8年度の予算審査をする重要な会議であります。民間企業の場合、目的が利益であるため決算に対する評価が重要になりますが、行政の場合注目されるのは、大切な税を何処に使うのかという点で決算より予算であります。今年度の当初予算も税込・国・県の補助金を含み過去最高となる額で予算編成されています。

右のグラフは、一般会計における令和元年から令和8年度の年度当初の予算額です。右肩上がりを示す令和元年から令和8年の予算額を比較すると50億程度増額しています。また、わたくしが議員になった平成25年の当初予算規模は一般会計で127億でありました。いかに成長が進んでいるかそして、商工業の発展に向けて町政に携わってきた皆様方の絶え間ない努力があったからだと改めて感じています。



予算特別委員会で質疑

質問①官民間問わず人手不足の環境下においては、職員の人材育成と人材確保が課題である。人材確保には福利厚生を含めた総合的な労働諸条件と共に、限られた人的資源の中で多様化・複雑化・高度化している業務に対して、人材育成や専門職の必要性を感じるが町はどう考えるか

答弁①今年度新たな「さむかわ人材育成基本方針2040」を策定した。その中では人材確保に関わるモチベーションアップ資するものや、マネジメント職はゼネラリストが務めるのが一般的と捉えている。その点でゼネラリストの人材育成を図っていきたいと考えている。

質問②子育て支援について、少子化の中で子育て支援センター相談事業の対応や預かり事業などセンターの重要性を改めて感じる。子育て支援に大きな役割を果たしている子育て支援センターの機能を町北部・南部に設置する検討をしているか

答弁②子育て支援センターについては、交通手段等の制約により来所しづらい方のために北部・南部の文化福祉会館に毎月1回子育て支援センターの職員が巡回ひろばで対応している。また今後、にぎわい交流創出ゾーンに子育て支援センターを含むエリアが想定されている。

質問③産業振興課の産業支援策、中小企業活性化補助金は、好評な産業支援策であり予算限度まで利用している状況である。次年度は補助メニューの検討や増額等の検討をしているか

答弁③中小企業活性化補助金は、町の地域経済コンシェルジュと共におこなう企業訪問などにより事業者のニーズ把握を行い、企業の経営基盤及び競争力の強化につながる補助事業であれば、これまでと同様、対象の補助メニュー拡充に向けた検討をしていく

討議資料

質問④部活動の地域移行・地域展開について、今年の町長の施政方針にもこの点に触れており次年度予算でも報償費が増額となっている。少子化や教職員の働き方改革などの社会環境の変化に伴い、学校を取り巻く環境は複雑化・多様化しており、教職員の働き方の課題と部活動の良さは一定程度顕在化しているのではと思うが、必要なのは今後進めて行くための方針、取り組み内容、スケジュールの策定は次年度どうしていくか

答弁④今後の部活動の地域移行・地域展開については、「単に部活動のすべてを地域やクラブに展開するのではなく、現状のように学校で活動を行い、生徒にとって有意義な活動になることを第一に考え、教育的効果を最大限に発揮していきたいと考えている。そのためにも、指導協力者の派遣をはじめ、教職員の働き方について調査・研究を行うとともに、町における部活動の地域移行の方針・取り組み内容スケジュールの策定についても進めていく。

活動トピックス



湘南地域連合新春の集い(令和8年. 1. 28)



湘南ブロックエルダース新春懇親会(令和8年. 2. 7)



寒川東中学校卒業式(令和8年. 3. 11)



寒川町観桜駅伝(令和8年. 4. 5)



第97回メーデー湘南地区大会(令和8年. 4. 25)



さとう一夫後援会

(連絡先)

〒253-0105

高座郡寒川町岡田6-6-1

電話番号:0467-75-0451



高志町
相模原市

さむかわ

議会だより

第 218 号

令和8年5月1日
発行

部活動の地域移行・地域展開の今後は

Q 町における部活動の地域移行・地域展開について、^{しんちやく}進捗が図られてきていると考える。令和8年度における方針や取り組み内容、スケジュールは。

A 部活動の地域移行・地域展開の例として、町のバレーボール協会では、町立の3中学校所属の男子生徒を集めてチームを作り、練習や試合参加の活動を行ってくださっています。

このような成功例を挙げて多様な手法があるということ、また今までどおり学校で行うということなどを、トータルで踏み込むものにしていきたいと考えています。



佐藤 一夫 委員
(大志会)